

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0170503718), 法人名 (社会福祉法人 パートナー), 事業所名 (グループホーム ハートの家伍番館), 所在地 (札幌市白石区菊水1条2丁目179番5番地), 自己評価作成日 (平成28年, 評価結果市町村受理日, 平成29年1月24日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様が心穏やかに毎日を過ごせるよう、些細な変化も職員同士が共有し検討しながらその方の思いに添ったケアを心掛けております。職員が働きやすい環境を作ることで、長く働いてくれる職員が増え入居者様との馴染の関係や又気持ちに寄り添って入居者様に接する事が出来ています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 rows: 基本情報リンク先URL (http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action kouhyou\_detail 2016 022 kihon=true&JigyosyoCd=0170503718-00&PrefCd=01&VersionCd=022)

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (平成29年1月11日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、大通りから一本奥に入った閑静な住宅街に位置し、3階建ての2、3階部分を専有している。各ユニット内はゆったりとした空間が確保され、季節の装飾を施し、正月には懐かしい藪玉飾りや羽子板の飾り付けなどして、心和む家庭的な環境作りをしている。運営法人は、人材育成を重視し各種研修を実施しており、職員は専門性を身に付け知識と技術の向上に繋げている。職員間のサポート関係が優れており、5年以上の継続勤務者が半数以上と、安定した利用者支援の提供も特筆される。利用者は、できる事やしたい事を行い、食事作りや縫い物、ぬり絵、DVD観賞など、個々のペースで穏やかに暮らしている。家族には、毎月個別新聞と手紙を送付し、日常の様子を詳しく報告しながら、利用者の暮らしをより良くしていくために密な関係を作っている。介護計画関連では、情報の収集と蓄積、現状評価を詳細に行い、実践可能な計画を作成している。健康面でも、住診や緊急時対応など医療機関と信頼関係を整えている。外出支援は、普段の外出や外出行事はもちろん、誕生日外出と称して利用者個々の希望を叶え、楽しい機会作りに取り組んでいる。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目に付く入り口などに理念を掲示し意識しやすい様工夫をしている。合同の会議を通じて理念の再確認を行い共有できるよう努めている。	法人の理念と基本方針を事業所の理念として、意識統一を図り、玄関やユニット入り口に掲示している。会議や日々のケアの中で、理念に沿ったサービスであるかを確認し、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会の方が2ヶ月に1度の地域運営推進会議へ出席して下さり、避難訓練にも参加してください。クリスマス会には地域の保育園児の招待や地域の夏祭りの参加など交流を図っています。	町内会に加入し、地域の夏祭りに参加したり、近隣商店の利用などで、住民と交流している。毎年クリスマスには地域の保育園児20名程が来訪し、和気藹々と楽しい時間を過ごしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議では、日々の生活の様子や職員の取り組みなど写真を紹介しながら認知症の方への理解を頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族様、町内会の方々に参加して頂き、行事やヒヤリ、事故の報告を行い入居者様の日々の様子や施設での取り組みを説明しご意見や、ご助言を頂いております。	運営推進会議は、家族や行政、地域関係者の参加で定期的開催している。活動状況に加えて事故等の報告、また、消防署員の同席で避難訓練後の講評を得て、運営に反映している。議事録を家族に送付している。	会議全体を通して参加メンバーが少ない状況であり、地域密着型事業所として地域との関係性を重視し、地域関係者へ参加要請を行うなどメンバー拡大に取り組むことを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故報告は直接介護保険課へ持参し必要な意見、指導を頂き再発防止に取り組むと共にケアの向上に努めております。	区や市の担当者とは、介護認定関係や事故報告等で連絡や報告を行っている。保護課職員とも密に連絡を取り合い、利用者のより良い暮らしの継続に協働している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内に「身体拘束・抑制廃止・虐待防止委員会」を設置し禁止の対象となる具体的なマニュアルの元定期的な勉強会を行い身体的拘束の無いケアの継続に努めています。	日常的に不適切ケアがないか、職員間で確認し合い、身体拘束の無いケアを実践している。法人の身体不拘束の方針の下、法人内研修や身体拘束に関する委員会を通して隔月の頻度で会議に発題があり、職員間で理解を深めている。玄関は日中は開錠しているが、防犯上の対策を検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記委員会活動と法人内で作成されたコンプライアンスルールの遵守に努めると共に合同会議やフロア会議で委員会の報告を行い職員が周知する事で日々虐待防止に努めております。又、法人全体の研修での勉強会で全職員が周知出来る様取り組み虐待防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度、日常生活自立支援制度を利用されている方がおり補佐人の方が1ヶ月に1度面会に来られています。手続きに関しては主に管理者が行っており職員への学びの場は設けておりません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には契約書を読み上げながら分かり易い様補足説明を行い、不明な点が無いか確認しながらご理解を得られるよう努めております。解約についても流れを説明しながら必要書類の記入などお願いしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様訪問時に利用者様の状況をお伝えしながらご意見、ご要望を伺い可能な限り運営に反映させて頂いております。	長期在職の職員が多く、家族とも馴染みの関係を築いている。来訪や電話の際に本人の現状を知らせながら、意見などを聞き取り運営に反映させている。毎月個人新聞と手紙を送付し、暮らしの様子を分かりやすく伝えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見、提案を聞く機会には設けているが、全ての意見が運営には反映させておりません。	人事考課を導入しており、日常業務ではその時々状況に応じて管理者が職員と話し合い、意向を聞くようにしている。利用者支援を始め、事業所の運営や業務は全職員で分担し、協力し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすい環境づくりには努めているが労務条件については全てにおいて満足のいくものにはなっていません。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験、力量、立場にあった内部、外部研修に参加する事で職員のスキルアップ向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修で同業者との交流を持つ機会を持つてはいますが、相互訪問活動には至っておりません。法人内では内部研修、委員会、行事などで交流の機会があります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安な気持ちを受け止めながらコミュニケーションを図り、その方の思いや願いを引き出せるよう取り組んでおります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前には可能な限りホームの見学をして頂き実際生活されている方々の様子をご覧になって頂いております。不安な事や要望をお話して頂ける様な関係を作れるよう取り組んでいます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様やご家族様がどのように生活していきたいかを伺い必要としている支援を確認しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で役割を分担し意欲を引き出したり生きがいを持っていただけるよう取り組んでおります。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	些細な事でも現状報告をし、ご協力頂ける所は協力を得ながら共に支えているという実感を持っていただけるよう努めて頂いております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方や、行きたい場所などは日常の会話の中から把握し実現できるよう努めています。	折に触れて利用者と昔話をしたり、個々のアルバムを見て会話を交わしている。自宅周辺のドライブや、正月には初詣でお札を買ってきたり、墓参には家族が同伴するなど、大切な場所や今までの習慣が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルを囲んで装飾品作りや、体操、歌会などを通して係りや支え合える関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後にも必要に応じて連絡を行い、お困り事など相談を行なったり不安な事があればいつでもご連絡頂ける様お伝えしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人のペースで生活して頂ける様に配慮し、食事、買い物、散歩、外出など希望に添える様調整し楽しみを提供しています。	利用者に寄り添う姿勢を大事にしている。意向や希望は、日常会話やその時々表情、仕草など本人の全体に着目し、理解するように努めている。家族からの情報や意見も得て、本人の思いに添った暮らしができるよう検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様から可能な限り情報を頂き、ご本人様との会話の中からも生活歴や習慣を知りセンター方式シートを活用し把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中から残存能力を見極め、職員間で情報を共有出来る様努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議において介護計画について話し合い、可能な限りご本人様からの意見やご家族様、主治医からのお話も含めモニタリング、検討し介護計画書に反映しております。	毎月の会議で、本人の現状を共有し検討している。3ヵ月毎に個別担当職員がアセスメント、モニタリングを行い、計画作成担当者を中心に、本人・家族の意向、医療面の指示も踏まえて具体的な介護計画を作成している。計画の実践は毎日の記録で確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録には、いつもと違う言動があれば具体的に記入し職員間で情報の共有によってケアの実践、介護計画書に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	季節の移り変わりを肌で感じていただき、多様なニーズに答えられる様に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の公園や散歩、買い物、町内の夏祭り行事などに参加し、又、ボランティアさんとの交流を楽しめるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族様の意向を聞きながら、かかりつけ医を決めています。定期の往診や通院時以外でもいつもと違う様子が見られた時には連絡をして連携を図っております。急変時には担当医と救急医が連携をとり適切な医療を受けていただいています。	現在は殆どの利用者が月2回の往診診療を利用している。他科や専門医の受診は、職員が通院支援をしている。受診状況は受診ファイルで共有して、利用者や家族が安心できるよう医療との連携に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の配置はありませんが、関係医療機関の医師や看護師に入居者様の生活状況や些細な変化も報告し緊急時には対応できるよう努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ご家族様に同席して頂き医師からの説明、今後の治療方針をお聞きしています。入院中には度々お見舞いに行き病院関係者の方と情報交換をし連携に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族様の意向をお聞きし、事業所のできる事の説明を行い出来る限り希望に添える様担当医を交え話し合いの機会を設けています。	契約時に本人と家族に説明し、状態の変化に伴い家族や主治医と話し合いを持っている。緊急時には主治医や看護師と連携を取りながら、看取りに近いケアを実施している。看取りケアに関するマニュアルを整えて勉強会を行い、対応方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	札幌市防災協会主催の普通救命講習を職員全員が受講しています。AEDを設置し勉強会を通じ実践出来る様努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年6回の避難訓練の内、消防署職員の立会い2回を目標に実施しております。災害に関する勉強会、避難誘導を卓上でシミュレーションを行う事により災害時に混乱せず柔軟に対応出来る様訓練を行っています。	年2回、夜間想定を含む避難訓練を実施し、1回は消防署と消防設備業者より指導を受けている。職員や防火管理者が日常自主検査を行い、火災、地震、水害の各種マニュアルを整備し、防災シミュレーション等を行っている。	災害時用食料の備蓄を図っており、今後は停電や防寒対策への取り組み、さらに、運営推進会議を活用しながら、周辺地域と相互に協力し合う体制作りへの取り組みを期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりへ尊敬の念を持ってお声掛けに努め排泄時には羞恥心へ配慮しております。訪問診療時には可能な限り居室での診療を行いプライバシーを損ねないよう対応をとっています。	利用者尊重の意識を全職員で共有しており、基本的に名前はさん付けで呼び掛け、排泄や入浴ケアは、特に羞恥心に注意して行っている。個人記録等は、一定場所で保管管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の様々な場面で本人様の思いに耳を傾け、自己決定が行えるよう働きかけております。些細な事でも意向に沿える様努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活において、ご本人のペースを尊重し自由に過ごして頂いております。各々趣味、嗜好に合わせ極力希望に添えるよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪や衣服が乱れている際には、お声を掛けたり手直しをしております。毛染めなど希望に沿いながら対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事の盛り付けをして頂いたり、食器やテーブル拭きなどのお手伝いをいただいています。会話をしながら職員と一緒に食事をしています。	食に関する作業は、利用者のできる事を一緒に行い、皆で食卓を囲み和やかに食事をしている。食材会社を利用し、季節感や嗜好、年中行事や毎月の行事食など細かく希望を伝え、食事が楽しみになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	持病のある方には、主治医の指示のもと食事、水分量を調整しています。一人ひとりの嚥下状態に合わせて食事形態を工夫し食べやすい食事を提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	その方に合わせたブラッシング法で、毎食後口腔ケアを行っています。異常が見られた時には歯科医師へ連絡し直ちに往診して頂ける様手配をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄リズムを把握し、お声掛けや誘導を行い失敗が軽減できるように努めています。又自立されパットを使用されている方には、交換のお声掛けを行っています。	記録シートにより、全員の排泄状況を把握し、声掛けや誘導を行っている。身体状況の変化を把握し、布下着の着用、パット等の検討、ポータブルトイレの使用などで個別の自立排泄を支え、不安なく気持ちよく過ごせるように対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況に合わせ医師指示の下、下剤の調整を行っています。又、自然排便を促す為、飲食物の工夫をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人様の体調や気分に合わせて柔軟に対応しております。	毎日入浴できるよう準備し、週2回を目安に体調やタイミングを見ながら入浴を支援している。状況により清拭やシャワー浴で対応し、時には家族と職員同行で近くの大型銭湯を利用するなど、個別対応を工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や夜間の睡眠状況により休息のお声掛けを行っています。寝付きの悪い方には希望によりホットミルクを提供しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の受診ファイルに、処方薬の情報を保管し変更の場合には、その後の状態の変化も含め申し送りなどによる情報の共有を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を把握し得意とされている事を継続して行えるよう支援し、自信に繋げ生きがいや達成感が持てるよう取り組んでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	それぞれの希望に添いながら、散歩、買い物、外食等に出掛けられる様取り組んでおります。又、ご家族様と一緒に外出や外食を楽しんでいただく機会を設けています。	近くの公園や河川敷を散歩したり、畑作りや外回りの作業などを利用者と一緒にしている。花見や紅葉狩りの外出行事を企画し、誕生日外出として、個別の外出希望を支援している。寿司やアイスを食べに出掛けたり、郊外までドライブして動物見物、冬季もイルミネーションを見に行くなど、楽しむ機会が多くある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理の可能な方には、ご家族様への了承を頂き、近所へ買い物に出掛け商品を選び支払っています。いいまで行って頂ける様支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様が希望された際には、随時電話をしていただいております。お正月の年賀状のやり取りが出来る様支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度、湿度管理に配慮し不快な音、臭いなどに気を配りながら穏やかに過ごせるよう取り組んでいます。季節を感じて頂きながら職員と一緒に作った装飾品の飾り付けを行い心地よく生活して頂ける空間作りを行っています。	食堂兼リビングには、窓からの採光も良く明るくゆったりとしたスペースになっている。家庭的な調度類が設置され、懐かしい繭玉飾りや羽子板など季節の装飾、皆で作成した飾り物が施され、温かな雰囲気である。温・湿度に配慮し、テーブルやソファの配置を工夫して、居心地良く過ごせる環境作りをしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓テーブルの他、ソファや椅子を設置し自由に過ごしていただき会話を楽しまれたり、一人で過ごす空間作りの工夫も行っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、馴染みの家具や雑貨を持って来ていただいております。ご本人様が作られた物やご家族の写真などを飾り心地よく過ごして頂ける様支援しています。	職員手製の分りやすい表札が掲示されている。各居室は僅かに造作の違いはあるが、ベットと暖房器以外は、自宅から家具や生活雑貨、仏壇や神棚等も自由に持ち込まれており、安心して暮らし易い居室に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置し自力で掴まり立ちや歩行が安全に出来る様工夫をしています。トイレや浴室の表示、居室には表札をつけ自立した生活が送れるよう工夫をしています。		